

# 会報総目録

号数	発行年	目次	頁
1	1983	口絵 発会式出席者記念写真	
		会員への連絡事項	
		会報発刊のことば	山崎一雄
		昭和57・58年度役員	
		日本文化財科学会設立趣意書	
		日本文化財科学会会則	
		発起人会記録	
		発会式記録	
		第1回総会記録	
		日本文化財科学会入会案内	
		会報について	
		入会	
		学会設立発起人	
発起人会・発会式・総会出席者			
会員名簿			
2	1983	会員への連絡事項	
		第2回総会記録	1
		評議員会・理事会記録	5
		文部省科学研究費分科新設要請	6
		入会	10
		訃報	12
		日本文化財科学会入会案内	13
		アーケオメトリーの将来	山崎一雄
		考古科学：現状の問題点と将来への模索 －第15回大太平洋学術会議の報告	池谷元伺
		14 C年代測定雑感	木越邦彦
出土木質遺物保存の実施作業	増澤文武		
3	1983	会員への連絡事項	
		評議員選挙管理委員会の設置	1
		評議員選挙とその後の日程	1
		入会	2
		訃報	3
		第7回文化財の保存・修復に関する国際シンポジウム、壁画 の保存(1)	山崎一雄
		特別研究「古文化財」シンポジウムをかえりみて	東村武信・増澤文武・ 藤原宏志・笹嶋貞雄・ 林謙作
		韓国ドングリ旅行記	渡辺誠
		Conservation at the Museum Support Center の設立 ：アメリカ合衆国	沢田正昭
		エックシュタイン先生を迎えるまで	佐原真
		放射年代測定と火山灰をめぐって	笹嶋貞雄
		最北の弥生農耕を求めて	工業善通
		欧米における動物考古学の現状	小池裕子
		4	1984
会員名簿	25		
日本文化財科学会会則	27		

		事務局の移転について	27
5	1984	日本文化財科学会会則	
		昭和59・60年度役員 事務局の移転 新入会員	1
		第3回総会記録	3
		昭和58年度会計決算	4
		昭和59年度予算	5
		日本文化財科学会第一回大会をかえりみて	山崎一雄・三辻利一・ 増澤文武
			6
		埋蔵文化財調査と自然科学的分析・鑑定委託について	三浦和信
		考古学との学際研究における分析化学者の役割	三辻利一
		第31回国際アジア・北アフリカ人文科学会議からのレポート	樋口隆康
			23
6	1984	会員への連絡事項	
		熱ルミネッセンス年代測定雑感	市川米太
			1
		環境考古学の定義と課題	那須孝悌
			5
		石器の産地分析 - 依頼分析の現状	東村武信
			7
		文化財科学関連国際会議参加者報告	馬淵久夫・三浦定俊・ 沢田正昭・山崎一雄
			12
		文献紹介	東村武信
			18
7	1985	新入会員紹介	1
		放射能測定と文化財研究のあゆみのなかで	坂上正信
			3
		紙上討論 『自然科学的調査における立場について』を 始めるにあたって	東村武信
			9
		遺跡発掘における自然科学的調査のあり方をめぐって	辻誠一郎
			10
		画像解析の遺跡探査への応用	抄 訳 木全敬蔵・ 松井 章
			13
		ベルギー便り - 王立文化財研究所と言語問題	西浦忠輝
			18
		第5回 International Conference for Archaeozoology	小池裕子
			20
8	1985	新入会員紹介	1
		昭和60年度日本文化財科学会総会記録	1
		第3回大会案内・評議員選挙について	5
		第2回大会をかえりみて	山崎一雄・馬淵久夫・ 佐原 真
			6
		中国訪問 - 発掘調査と保存科学 - 会議・研究会報告	沢田正昭
			9
			鈴木友也・中里寿克
			10
9	1985	新入会員紹介	1
		考古学の時代区分と古環境	安田喜憲
			2
		日本文化財科学会への御願い	市川三次
			5
		鉛同位体比法についての雑感	山崎一雄
			7
		第九回文化財保存修復国際研究会の成果	伊藤延男
			8
		中国古代陶磁科学技術第2回国際討論について	山崎一雄
			9
		編集後記	10
10	1986	黒曜石分析の現状と課題	金山喜昭
			1
		考古学の第二世代の養成のために	小池裕子
			6
		イタリアにおける青銅製品の保存処理の近況	内田俊秀
			8
		特別寄稿「韓国・新安海底出土遺物の保存処理」	崔 光南
			10
		学術会議考古学研究連絡委員会報告	山崎一雄
			14
11	1986	昭和61・62年度日本文化財科学会役員	1
		第4回日本文化財科学会総会記録	1
		理事会記録	5

		古文化財科学の20年 - 会誌「考古学と自然科学」発刊の事情 -	東村武信	6
		第3回日本文化財科学会大会		
		第3回大会に思う	山崎一雄	10
		第3回大会の開催について	木越邦彦	10
		テーマセッション「旧石器時代の環境と人類文化」を 振り返って	小林達雄	11
		加速器による放射性炭素年代測定	中井信之	13
		第3回大会をかえりみて	笹嶋貞雄	14
		新入会員紹介		17
		住所等変更の届出		19
12	1986	正倉院宝物の自然科学的研究	成瀬正和	1
		考古資料としての動物遺存体	松井 章	7
		荒神谷遺跡と自然科学的調査	足立克己	11
		アジア地区文物保存技術討論会に参加して	青木繁夫	13
		新入会員紹介・住所等変更の届出		15
13	1987	中国における石窟寺院の保存について	李 最雄	1
		文化財保存雑感	伊藤延男	8
		旧石器時代研究と自然科学の提携 - 馬場壇A遺跡を中心として -	岡村道雄	9
		明石人発掘雑感	春成秀爾	11
		ジャワ通信	渡辺直経	13
		新入会員紹介		15
		住所等変更の届出		15
		『考古学と自然科学』バックナンバー目次一覧		16
14	1987	会員への連絡事項		
		考古学と自然科学-カナダと日本-	Brian Chisholm	1
		考古学は自然科学のために何をしたか-逆説的命題から-	北郷泰道	3
		文化財科学関係学術用語検討委員会設立へのお願い	市川三次	8
		新入会員紹介		11
		住所等変更の届出		13
		『日本文化財科学会会報』バックナンバー目次		15
		日本文化財科学会入会案内		
15	1988	会員への連絡事項		
		オランダにおける考古動物学研究の紹介、および日本の 考古動物学研究の印象	A.T.クラソン	1
		わが国「胎土分析」の先駆者・直良信夫	成瀬正和	4
		英国の遺跡探査事情	西村 康	8
		新入会員紹介		10
		住所等変更の届出		11
		会誌「考古学と自然科学」第20号発行について		13
		日本学術会議月報「第14期会員選出に係わる登録学術研究 団体の概況」		15
16	1988	会員への連絡事項		
		会長就任のごあいさつ	会 長 坪井清足	1
		雑 感	前会長 山崎一雄	2
		<第5回大会特別講演要旨> サヌカイト製石器について	鎌木義昌	3
		<第5回大会研究発表をふりかえって> 材質・技法・産地	大沢眞澄・二宮修治	5

		年代測定	都出比呂志	6
		保存科学	三浦定俊	8
		文化財一般	上野佳也	9
		テーマセッション「先史時代人の食性」	中井信之	11
		テーマセッション「先史時代人の食性」	林 謙作	12
		明日に架ける橋	佐原 眞	14
		地震考古学の提唱	寒川 旭	19
		会員の動向（新入会員・住所変更等）		27
		日本学術会議月報・報告より		31
		日本文化財科学会入会案内		34
		編集後記		
17	1989	会員への連絡事項		1
		<大学における文化財科学教育>		
		奈良教育大学	長友恒人	7
		奈良大学	西山要一	10
		第12回国際文化財保存科学会議	山崎一雄	12
		X線CTによる歴史資料の非破壊分析	田口 勇	16
		<トピックス>		
		長屋王木簡の出土	寺崎保広	30
		藤ノ木古墳の調査	前園実知雄	34
		火山灰に埋もれた村ー群馬県渋川市・中筋井関	大塚昌彦	38
		会員の動向（新入会員・住所変更等）		42
		編集後記		
18	1989	会員への連絡事項		1
		<第6回大会研究発表をふりかえって>		
		古環境	酒井龍一	13
		年代測定	長友恒人	15
		材質・技法・産地	清水芳裕	16
		保存科学	沢田正昭	19
		特別ポスターセッション「災害の文化財科学」	泉 拓良	21
		討論・藤ノ木古墳出土遺物の保存	増澤文武	23
		機器展示	魚島純一	25
		<大学における文化財科学教育>		
		東京芸術大学美術学部保存科学教室	杉下龍一郎	26
		敦煌莫高窟保存に関する日中共同研究	西浦忠輝	29
		インド・ラダック地方 ラマ教寺院の壁画保存を願う	木村紀子	31
		写真画像の保存科学とその現状	山口誠治	36
		北方ユーラシアに魅せられて	大野 遼	39
		邪馬台国は、見えてきたか	毛利和雄	45
		会員の動向（新入会員・住所変更等）		48
		編集後記		
19	1990	会員への連絡事項		
		仙台市富沢遺跡の調査と保存	太田昭夫	11
		史跡 峯ヶ塚古墳地中レーダー探査	笠井敏光	17
		大気汚染の日本刀におよぼす影響及び保存方法に関する研究		
		（1）都市における日本刀の保存条件と美術品としての		
		寿命との関係	辻野喜夫・佐藤幸弘	21
		酸性雨と文化財ー文化財の環境を考えるー	村上 隆	26
		紙をめぐる話題	稲葉政満	30
		会員の動向（新入会員）	34	

		編集後記	
20	1990	会員への連絡事項	1
		日本文化財科学会第7回大会を顧みて	坪井清足 13
		<第7回大会研究発表をふりかえって>	
		年代測定	松浦秀治 14
		古環境	町田 洋 15
		産 地	西田史朗 17
		保存科学	肥塚隆保 19
		特別ポスターセッション・各種ワークショップについて	小池裕子 21
		パネルディスカッション装飾古墳の保存と活用	矢島國雄・門倉武夫 24
		国際考古科学会参加の記	西村 康 33
		西安印象記	三辻利一 35
		会員の動向（新入会員・住所変更等）	40
		編集後記	
21	1991	会員への連絡事項	1
		大工道具の保存と管理	渡邊 晶 9
		六條御殿御用材保存処理奮戦記	天野暢保・飯塚朋子・ 伊藤キミ・大見きよ・ 加島美紗・仲野登志子・ 高取敬子 17
		ICOMとIICの国際会議に出席して	神庭信幸 29
		第6回TLおよびESR年代測定国際会議に参加して	長友恒人 32
		中国漆工芸研究会訪中団参加記	千種 浩 35
		市川米太先生の御逝去を悼んで	東村武信・長友恒人 40
		会員の動向（新入会員・住所変更等）	44
		編集後記	
22	1991	1991年度日本文化財科学会総会開催される	3
		1990年度事業報告・会計決算	
		1991年度事業計画・会計予算など	
		理事会・文化財科学関係文献目録委員会記録	9
		第2回文部省科学研究費助成申請・採択状況調査	
		1992年版会員名簿作成調査に御協力下さい	10
		会員の動向	11
23	1992	日本文化財科学会第VI期評議員選挙について	3
		理事会記録	8
		文部省科学研究費助成申請・採択状況調査の結果	10
		文化財科学関係文献目録委員会だより	14
		会員の動向（新入会員）	15
24	1992	会長に就任して	馬淵久夫 3
		1992年度日本文化財科学会総会開催される	4
		日本文化財科学会第9回大会を終えて	清水信行 11
		理事会の記録	13
		文化財科学関係文献目録委員会報告	14
		会員の動向	15
		文部省科学研究費「文化財科学」が新設される	20
25	1993	日本文化財科学会第10回大会ならびに1993年度総会開催の お知らせと研究発表の募集	3
		統計グラフで見る日本文化財科学会10年	5
		理事会の記録	8
		会員の動向（新入会員・住所等の変更）	10

26	1993	1993年度日本文化財科学会総会開催される		3
		日本文化財科学会第10回大会を省みて	三辻利一	9
		日本文化財科学会第10回大会研究発表をふりかえって	西田史朗	11
		古環境	森 勇一	12
		材質・技法・産地	成瀬正和	15
		保存科学	高橋美久二	20
		文化財一般	土生田純之	21
		1993年度評議会の記録		23
		理事会の記録		23
		会員の動向		26
		1994年度版会員名簿作成基本調査を行います		32
		文化財科学文献目録・データベース会員特別頒布のお知らせ		2
27	1994	日本文化財科学会第Ⅶ期評議員選挙告示		3
		日本文化財科学会第11回大会・1994年度総会通知と研究発表の募集		8
		理事会の記録		10
		1993年度文部省科学研究費「文化財科学」26研究採択される学会・研究助成だより		12
		広告(賛助会員)		13
		会員の動向		14
		会員の動向		16
		新しい任期に向かって	会長 馬淵久夫	3
28	1994	1994年度日本文化財科学会総会開催される		4
		文化財科学文献データベース委員会発足のお知らせとお願い		10
		日本文化財科学会第11回大会をふりかえって		
		日本文化財科学会第11回大会を終って	委員長 大沢眞澄	12
		特別セッション	網干 守	13
		年代測定	松浦秀治	14
		古環境	松田隆嗣	15
		材質	齋藤 努	18
		技法	武田昭子	19
		保存科学	白沢勝彦	20
		文化財一般	松田泰典	22
		会員の動向		25
		日本文化財科学会設立10周年記念シンポジウム「科学が解き明かす古墳時代」のご案内		2
大学と科学シンポジウム「古代に挑戦する自然科学」のご案内		32		
29	1995	日本文化財科学会設立10周年記念の2シンポジウム盛会裡に終了		3
		理事会の記録		4
		阪神・淡路大震災被災文化財等救援活動の報告		7
		阪神・淡路大震災被災文化財等リスト		9
		会員の動向		27
		1995年度日本文化財科学会総会開催される		3
30	1995	日本文化財科学会第12回大会を終えて		
		－大会運営と公開講演会－	今津節生	7
		第12回大会研究発表「産地」をふりかえって	植野浩三	10
		討論「科学が解き明かす古墳時代」(上)		13
		会員の動向		23
		1996年版会員名簿作成基本調査を行います		32

31	1996	日本文化財科学会第Ⅷ期評議員選挙告示	選挙管理委員会	3
		理事会の記録		8
		文化財保存修復事業に関与する研究者への助成について (募集)		9
		討論「科学が解き明かす古墳時代」(下)		10
		会員の動向		24
32	1996	1996年度日本文化財科学会総会開催される		3
		日本文化財科学会第13回大会をふりかえて		
		日本文化財科学会第13回大会を開催して	委員長 木下正史	9
		研究発表プログラム		10
		年代測定	平尾良光	13
		古環境	矢島國雄	14
		材 質	松田泰典	15
		技 法	赤沼英男	17
		産 地	服部哲則	18
		保存科学	鈴木 稔	20
		文化財一般	三浦定俊	21
		文化財科学文献データベース委員会発足のお知らせとお願い		23
		会員の動向		25
		フォーラム『稲作起源を探る』・シンポジウム『中国・草鞋山 遺跡における古代水田稲作』のご案内		36
33	1997	会長就任のごあいさつ	田村晃一	3
		これからの「考古学と年代測定」	長友恒人	4
		日本文化財科学会大会を考える		
		日本文化財科学会の大会の在り方について	一会員	8
		日本文化財科学会を楽しい学会にしよう	三辻利一	9
		大会の運営方法について	伊藤博之	10
		理事会の記録		12
		日本文化財科学会会誌『考古学と自然科学』総目録 (第1号～第33号)		14
		会員の動向		24
		第2回国際遺跡探査学会のご案内		2
第4回国際金属歴史会議のご案内		32		
34	1997	日本文化財科学会1997年度総会報告		3
		日本文化財科学会1997年度評議員会報告		8
		理事会の記録		9
		文部省科学研究費「系・部・分科・細目表」の複合領域 「文化財科学」の分科新設とその経緯	増澤文武・三浦定俊	11
		日本文化財科学会第14回大会を終えて・実行委員会総括 －文化財科学の原点を問いなおす－	第14回大会実行委員会	18
		1997年9月26日イタリア中部地震と文化財の被災	西山要一	30
		会員の動向		33
35	1998	日本文化財科学会出版特集		
		日本文化財科学会会誌『考古学と自然科学』		3
		日本文化財科学会会報		14
		日本文化財科学会研究発表要旨集		21
		文化財科学文献目録・データベース		22
		記念シンポジウム・記念講演会資料集、論文集		23
		日本文化財科学会出版物(バックナンバー)の頒布について		2
日本文化財科学会の概要		25		

		日本文化財科学会入会手続要領	26
		日本文化財科学会会則	31
38/39	2000	日本文化財科学会1999年度総会報告	3
		1998年度事業報告・会計決算	
		1999年度事業計画・会計予算	
		日本文化財科学会1999年度評議員会報告	7
		理事会の記録	8
		座談会・日本文化財科学会の15年（1）	11
		「考古学と自然科学」投稿規定	34
40	2001	日本文化財科学会2000年度総会報告	3
		1999年度事業報告・会計決算	
		2000年度事業計画・会計予算	
		日本文化財科学会2000年度評議員会報告	9
		理事会の記録	10
		日本文化財科学会第17回大会概要報告	13
		日本文化財科学会第17回大会研究発表の記録	14
41	2001	理事会の記録	3
		(2000年度に本文化財科学会公開講演会の記録)	
		『古代都市・飛鳥の謎はどこまで解けるか －考古学・歴史学が文化財科学に望むもの－』	5
		『古代都市・飛鳥の謎はどこまで解けるか』アンケートの 集計結果	41
42/43	2002	日本文化財科学会2001年度総会報告	3
		2000年度事業報告・会計決算	
		2001年度事業計画・会計予算	
		日本文化財科学会2001年度評議員会報告	9
		理事会の記録	10
		日本文化財科学会第18回大会の記録	13
		日本文化財科学会第18回大会特別セッション 『21世紀の文化財科学』の記録	23